

1. 授業の概要(ねらい)

博物館には多種多様な資料が収集されており、これらの資料は多くの情報を内包している。そのため博物館における情報の管理と発信は近代的な博物館設立当初からの主要な目的であった。これらの情報を展示、研究、教育に活用するための媒体がメディアと呼ばれ、体験展示やジオラマ展示、科学の演示実験などを通じてさまざまなメディアが情報伝達のために利用されてきた。さらにインターネットの普及から20年余りが経過し、情報の種類やメディアの種類も多様化している。この授業では博物館における様々な情報について整理し、情報の提供と活用等に関する基礎的な知識を習得する。

2. 授業の到達目標

- ・博物館が有する情報の特徴を理解し、管理と発信に不可欠な判断能力を習得する。
- ・設定された目的を達成するための情報編集力ならびに発信力を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業におけるリアクションペーパーを用いた理解度の評価(30%)+製作課題(40%)+期末試験(30%)

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

日頃から博物館の見学や博物館WEBサイトの閲覧を通じて博物館情報やその発信について関心を向けてください。

6. その他履修上の注意事項

第10回目の授業の際に製作課題を課します。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 情報・メディアとは何か:博物館とはいかなるメディアか?
- 【第3回】 博物館が扱う情報の種類1:教育・展示・活用
- 【第4回】 博物館が扱う情報の種類2:調査研究・ビッグデータ
- 【第5回】 ドキュメンテーションとデータベース
- 【第6回】 デジタルアーカイブの倫理:デジタルとアナログ
- 【第7回】 デジタルアーカイブの技術:デジタル化作業
- 【第8回】 博物館メディアの役割と学習活用:音声ガイド・デジタルサイネージ
- 【第9回】 ICT社会における博物館:情報資源の双方向活用とその役割・情報倫理
- 【第10回】 博物館展示コンテンツの製作
- 【第11回】 博物館における情報機器の活用:博物館における情報機器・その導入の課題
- 【第12回】 情報発信とインターネットの活用:WEBサイトとSNS
- 【第13回】 デジタル・ミュージアムの考え方:デジタル技術を活用した博物館資料の保存・研究・展示・教育機能の拡大化
- 【第14回】 博物館情報の管理:知的財産権と個人情報
- 【第15回】 授業総括と今後の展望